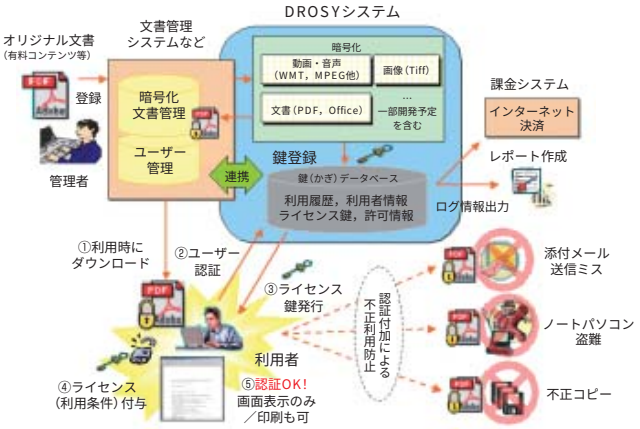
利用権管理（DRM）ソリューション“DROSY”
－デジタルコンテンツの不正利用と情報漏洩を防止－

利用権管理ソリューションDROSY(注)は，改竄(かいざん)や持ち出しが容易であるデジタルコンテンツ(文書，画像，動画・音声)の不正利用と情報漏洩(ろうえい)を防止する仕組みを提供する。

デジタルコンテンツを暗号化し利用権を設定することで，ライセンス(使用許諾)を受けたユーザーにのみ利用を許可し，万一ファイルが漏洩した場合も利用できないようにする。DROSYの利用権制御により，正しいアクセス権を持つユーザーの誤操作及び悪意ある行動による情報漏洩を防止できる。

主な特長は，①デジタルコンテンツがコピー・転送されても利用時ごとにライセンスをチェックするため，いかなる場所にあっても常に利用権に基づいたコントロールの実現，②利用権管理をコンテンツ管理，ユーザー認証，アクセス権設定，課金などの機能と独立させ様々なシーンに適用できるインタフェースを用意していることである。例えば，既に文書管理システムを導入されている企業の場合，DROSYで暗号化された文書に対するユーザー及び文書の管理は，既存の文書管理システムで一元管理が可能となる。

また，ユーザー認証においてもICカードや指紋認証等の連携が可能であるため，企業のニーズに応じたシステム環境が提供できる。現状は，文書はAdobe(注) PDF(注)，動画・音声はWMT(Windows Media(注) Technologies)，MPEGに対応しており，順次Microsoft(注) Office(注)，Tiff等のサポートを予定している。



利用権管理ソリューション“DROSY”システムの利用イメージ
＜取り扱い：三菱電機インフォメーションシステムズ㈱＞

高度な情報検索を実現した統合ドキュメント管理システム
“Manedge Leader”

統合ドキュメント管理システムManedge Leader(注)は，登録・閲覧・検索・ワークフロー・アクセス権管理といったドキュメント管理機能に加え，三菱電機の知識情報活用エンジン“ナレッジプロバイダ”を搭載したことにより，属性設定不要な全文検索，概念検索，テキストマイニングなど，他社にはない高度な情報検索，効率的な情報活用を可能とした。

これにより，登録時の属性設定や検索時キーワード設定の煩わしさから開放され，企業内で発生する多種多様な文書を一元管理して，必要なときに必要な情報を効率良く抽出することができるようになった。Manedge Leaderを導入することで，企画・研究開発・設計・品質管理・資材さらには営業・サービスといった各種部門から発生する情報を全社的な資産として一元管理することができ，部門間をまたがった情報共有とその活用により，製品企画・設計の効率化，品質向上，資材調達価格の低減，顧客ごとの製品補修履歴のトレースなどを実現することができる。

また，電子署名や署名延長，電子文書の利用権管理といった高度なセキュリティ機能を付加することで，安全で快適な企業間のコラボレーションにも対応する。すべてのコア機能をAPI(Application Program Interface)としてオープンにしているので，周辺システムとの連携が容易であり，多様なビジネスニーズに対応する十分な拡張性を実現する。

ドキュメント管理機能の画面　**全文検索で検索できる文字列**
＜取り扱い：三菱電機インフォメーションシステムズ㈱＞

データ統合から分析まで連携を強化した新“三菱データウェアハウスソリューション”

企業内に散在している各種データを，スピード経営を支えるための各種情報に変えることがますます重要になってきている。

これらのニーズを支える技術としてデータウェアハウス（DWH）が注目されており，ここではDWHに関する２つの新製品を紹介する。

(1)　新DIAPRISM(注)

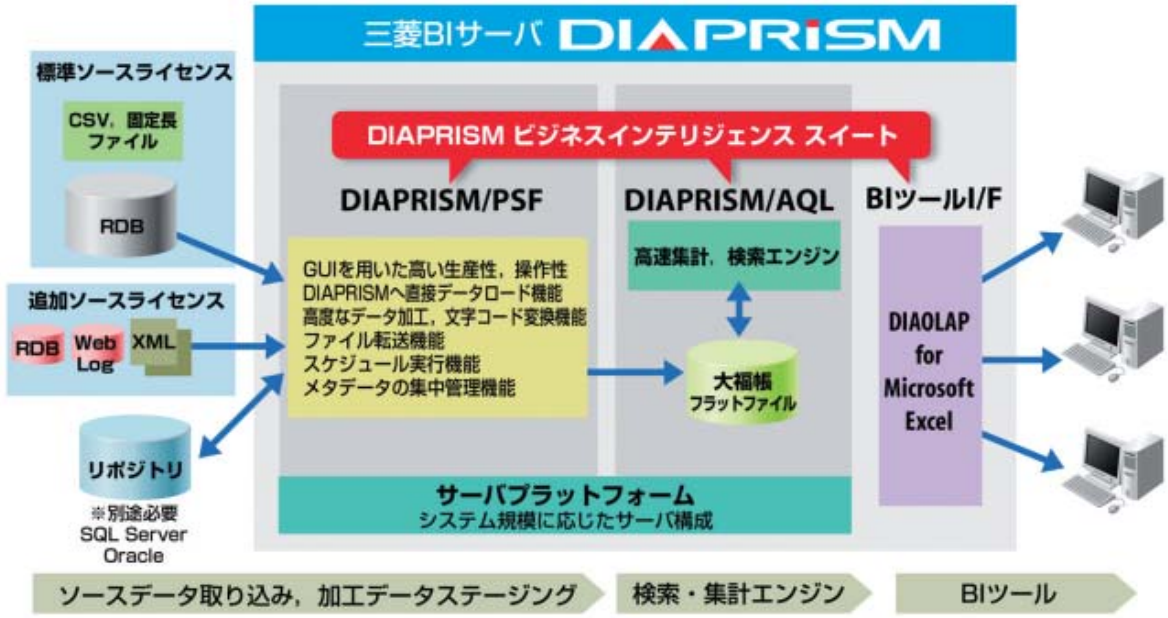
DIAPRISM（ダイアプリズム）は，1997年の発売以来，650社以上のお客様のデータ分析，データ可視化にその威力を発揮してきた。

シリーズの最新モデルは，データ統合機能で世界No.1のシェアを誇る米国Informatica(注)社の技術を導入し，DWHシステムにとって不可欠な以下の３つの要素をすべて使いやすいグラフィカルユーザーインタフェース（GUI）環境に一元化して提供している。①業務システムやPOSなどの売上データ，Webログデータなど様々なデータソースの統合／取り込み／加工／書き込み機能（DIAPRISM／PSF（Power Staging Facility）），②従来に比べて最大2.2倍性能が向上した大量データの保存／高速検索／高速集計機能（DIAPRISM／AQL（Analytical Query Language）），③使い慣れたExcel(注)を使って，大量データから情報を可視化する分析機能（BIツールI／F；Business Intelligence ツールインタフェース）。新DIAPRISMがあれば，大量データを活用するDWHシステムを，既存の業務システムに手を入れることなく，短い期間で構築でき，Excelなど使い慣れたツールを使った，使いやすく，データ分析・経営分析の思考を中断させない，検索待ち時間の少ないシステムを手に入れることが可能となる。

(2)　DIAPRISMリコメンデーションシステム

DIAPRISMリコメンデーションシステムは，あらかじめ人為的に決められたルールに従って商品を推薦するのではなく，多数のお客様の購買履歴から動的かつ自動的に嗜好（しこう）性又は傾向を導き出し，その結果を基に個々のお客様が求めているであろう商品群を推薦するシステムである。DIAPRISMリコメンデーションシステムは，協調フィルタリング方式を採用し，DIAPRISMの大福帳データベースの大量データから個々のお客様に対してリコメンデーションするためのデータの抽出，及びその特異値分解を高速に実行し，その結果を基にお勧めデータを作成することを特長としている。

上記のデータ抽出・特異値分解機能は，ツールとAPI（Application Program Interface）の両方で提供するとともに，流通・サービス業向けDIAPRISMパッケージ顧客戦略シリーズでは，“商品推奨機能”（オプション製品）として提供している。



新三菱BIサーバ DIAPRISMの機能構成

＜取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー㈱＞